

## 表紙写真紹介

### 日本一の菜の花畑

滝川市は、札幌市と旭川市のほぼ中間に位置し、札幌、旭川、富良野、日本海エリアまで車で約1時間圏内と交通利便性が高い恵まれた交通環境にあり、豊かな自然に囲まれながらも、医療施設や商業施設が充実した市街地のある住みよいまちです。

滝川市の菜の花は、平成19年から6年連続日本一の作付面積（今年は150ヘクタール）を誇っており、毎年5月下旬から6月上旬に市北東部に広がる見渡すかぎりの眩しい黄色のじゅうたんは、圧巻そのものです。

滝川市では、菜の花が満開を迎える5月下旬から6月上旬の見頃に合わせて、「たきかわ菜の花まつり」を開催し、毎年、道内外から30,000人を超えるお客様にお越しいただき、一年で最も滝川市が賑わいます。

菜の花畑は、もともとは畑作地帯の小麦の連作障害回避のため作付が始まったものですが、菜種油の搾油を目的にした農業の生産現場です。品種は、エルシン酸をまったく含まない「キザキノナタネ」を採用しています。

写真は、青空のもと雪を頂く暑寒連峰を望む菜の花畑の風景ですが、菜種も連作障害が起きるため、作付場所は毎年変えており、毎年違ったビューポイントを楽しめます。

また、道の駅たきかわ、農協の直売所「菜の花館」では、地元で圧搾した「菜種油」、菜種油と特産の玉ねぎが原料の「菜の花オニオンソース」が販売され、好評を博しています。

## 事務局より

安全で安心して暮らせる国土で、豊かな生活を営むため地理空間情報を積極的に活用した「地理空間情報高度活用社会」の実現、それに必要な情報の精度と鮮度の向上が求められる中であって、測量技術の研究開発、普及啓発そして正確性の検証等を担う当協会の役割はますます重要になってまいりました。

これまでの認可法人は、公益法人制度改革三法の成立により、一般法人への移行か公益法人の認定を受けなければならなくなりました。当協会は平成25年4月以降、公益法人として活動していくため、本年8月「公益認定等委員会」に認定申請書を提出し、現在、細部について調整していると聞いております。

さて、近年、記憶にあるだけでも北海道南西沖地震、阪神淡路大震災、東日本大震災等によ

り大きな被害が発生しました。この災害からの復旧と復興への取り組み、それと今年の夏の猛暑、酷暑の中でなされた節電の要請に、平然とそして整然と応えられる日本国民の勤勉さ、実直さを実感いたしました。このような国民が安全で安心して暮らせる国土づくりは急務の課題であると思いました。

いずれにしても、日本測量協会はその設立理念を基に、公益法人としてさらに社会貢献ができるよう定款の改正を終えております。

北海道支部としても会員各位にいちばん近い存在としてさらに努力してまいりますので、ご意見ご要望がございましたらご一報をお願いいたします。

皆様には一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。